※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)日本史演習Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次後期
使用教科書	日本史探究「詳説日本史」　（山川出版社）						
副教材等	最新日本史図表　（第一学習社）　新日本史研究ノート応用編　（啓隆社） 4 ステージ演習ノート日本史（数研出版）　山川一問一答日本史（山川出版社） 2027 共通テスト対策【実力完成】直前演習 歴史総合,日本史探究 （株式会社ベネッセコーポレーション）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な資料や史料を読み解き、その時代の特質を理解してほしい。また「世界の中の日本」という観点を忘れず、世界の動向をよく理解してほしい。また、史料読解や問題演習にも積極的に取り組んでほしい。

2　学習の到達目標

この科目は、近現代史を中心に講義を行う。また、史料読解や問題演習を行い、より深く歴史を理解する。
(1)我が国の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界史との関連を総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色について認識を深める。また、我が国の歴史に関する諸情報を適切に調べてまとめる技能を身につけるようにする。
(2)我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や時期、推移、相互の関連、現在とのつながりなどに着目して多面的に考察することを身につける。また諸課題を把握し、解決を視野に入れて構想する力や、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
(3)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に入れ、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、歴史的思考力を培い、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深め、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開について、世界の歴史と関連づけながら各時代の特色および変遷を総合的に考察し、我が国の伝統と文化についての知識を身につけている。	歴史的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的事象に対する関心を高め意欲的に追究するとともに、歴史的経緯をふまえた現代の日本の課題の探求に真摯に取り組み、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	第Ⅳ部近代・現代	第14章近代の産業と生活 1近代産業の発展 2近代文化の発達 3市民生活の変容と大衆文化	a:左記の内容に関する歴史用語を理解し、その知識を身につけている。 b:左記の内容に関する歴史的事象を、資料に基づき多面的・多角的に考察し、表現している。 c:左記の内容に関してノートやプリントの作成などに主体的に取り組み、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ﾉｰﾄ 確認ﾃｽﾄ 振り返りｼｰﾄ
		第15章恐慌と第二次世界大戦 1恐慌の時代 2軍部の台頭 3第二次世界大戦	a:左記の内容に関する歴史用語を理解し、その知識を身につけている。 b:左記の内容に関する歴史的事象を、資料に基づき多面的・多角的に考察し、表現している。 c:左記の内容に関してノートやプリントの作成などに主体的に取り組み、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ﾉｰﾄ 確認ﾃｽﾄ 振り返りｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度